

令和7年度 学校法人 三幸学園 辻学園調理・製菓専門学校 日本語学科
自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 上田 有輝

【認定日本語教育機関としての目的及び目標】

本校日本語学科は、調理・製菓分野に進学する外国人材の育成を目的とし、以下を教育目標とする。

- 1.日本語の「話す、聞く、読む、書く」の4技能について、専門課程への進学および日本での生活に必要な実践的日本語能力を習得。
- 2.日本人の学生や教職員と円滑にコミュニケーションを図ることができる会話力を養成し、専門教育への適応力を高めること。
- 3.調理師、製菓衛生師、栄養士等の国家資格取得を目指す学科へ進学するために必要な、食に関連する基礎知識および専門用語への理解を深める。
- 4.日本で生活し働く上で必要な基本的マナーやルール、日本の文化・習慣への理解を深め、挨拶、清掃、協調性等を備えた社会性豊かな人材を育成する。
- 5.将来、外食業界等において即戦力として活躍し、日本の調理・製菓技術や食文化の継承・発展に寄与できる人材の基盤を形成。

【評価項目の達成及取り組み状況について】

(1) 教育目標の達成状況

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想について、生徒や保護者・紹介機関に開示されているか	4
目的及び目標で定めている内容を実施できているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

学校の理念・目的・人材育成像等の周知については、募集活動時（募集ツールや説明会など）をはじめとし、生徒本人（保護者含む）や紹介機関に対し情報を開示している。また、入学当初に行うオリエンテーションでは、改めて学校の概要に加え、理念や目的・人材育成像を入学者へ説明を実施している。加えて、初回授業時には各科目担当者より、上記の内容に加えて到達目標や成績評価についても丁寧に説明を実施している。

(2) 学校運営

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

現在、日本語学科は「適正校（クラスⅡ）」ではあるが、在留資格認定証明書(COE)交付は、8割を下回っている。そのため、定員数を満たすことはできておらず、事業計画書との差異が出てしまっている。なお、募集の段階では定員の3倍程度の応募があるため、COEの交付率を上げられるように努めることが必要である。また、学生の在籍管理システムについては、日本語学校独自のルールに対応しきれていない部分があるため、別途、管理が必要なケースもある。

② 今後の改善方策

学生管理システムについては、基本情報や出欠管理の他に、資格外活動やビザの管理まで一括してできるものを今後、検討する。

③ 特記事項

(3) 教育活動

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
カリキュラムは体系的に編成されているか	4
日本語学科卒業後の進路を見据えた視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
成績評価の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制は、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行なわれているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

教員への研修や育成は全体で行うものにとどまっている。

② 今後の改善方策

様々な日本語教育歴の教師がいるため、個人に適した指導力育成計画を立てる。また、キャリアアップを視野に入れた段階的な研修を行う。

③ 特記事項

(4) 学習成果と卒業の認定について

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
日本語能力の向上が図られているか	4
日本語能力の習熟度を把握しているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後の進路を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
卒業認定の基準は明確に定められ、生徒の学習成果に基づき適切に運用されているか	4
課程修了の要件および卒業認定の基準について、生徒への周知が徹底されているか	4
各科目の成績評価は客観的・公平に実施されているか	4
学習成果（日本語能力、出席状況、授業参加度、課題提出状況等）の総合評価が行われているか	4
学習成果を教育課程改善や生徒支援に活用しているか	4

① 課題

就職コースのうち、大阪府外で勤めている学生の社会的な活躍及び評価を把握できていない場合がある。

② 今後の改善方策

定期的な連絡や同窓会などを計画、実施する。

③ 特記事項

(5) 教育活動の改善を継続的に行う仕組み

【評価項目】 (評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校生活および授業に関する生徒アンケートを定期実施しているか	4
修了時アンケートを行っているか	4
出席率・進級率・JLPT合格率等を分析しているか	4
進学・就職実績を把握しているか	4
教員会議で授業上の課題共有をしているか	4
生徒からの苦情・要望を記録しているか	4
生活指導上の問題を分析しているか	4
教務会議を定期開催しているか	4
カリキュラム改善を協議する場があるか	4
校長・副校長・主任教員・教員・生活指導担当者・事務を統括する職員の役割分担が明確か	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

生徒に対して、「学校満足度アンケート」および「授業の進め方アンケート」を年2回実施し
クラス運営ならびに授業の進め方について、振り返る機会を設けている。

(6) 生徒支援

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
卒業後の進路に関する支援体制は整備されているか	4
生徒相談に関する体制は整備されているか	4
生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
生徒の生活環境への支援は行われているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3

① 課題

- ・学外においてのボランティア活動や地域交流会などの促しについて、案内はしているが、実績がない。
- ・卒業後に同窓会などの機会を設定していなかった。

② 今後の改善方策

- ・卒業生の進学・就職先への密な連絡、訪問を行い、連携を図りながら卒業生の情報を把握する。
- ・学校公式 FaceBook 内【卒業生専用ページ】内容の充実を図り、卒業後も気軽に連絡を取れるように図る。

③ 特記事項

- ・進路ガイダンスの実施や、進学時や就職活動時の履歴書(入学願書)作成および面接練習など、個々人の状態に合わせてカスタマイズした対応をしている。
- ・海外送金などにより、延納が見込まれる場合は、所定の手続きを行うことで、延納を認めている。
- ・担任、生活指導者など個々の抱えている悩みや状況に応じて、相談できる窓口を広く取っている。
また、区役所および病院の引率、銀行口座の開設など、必要に応じて引率を実施している。

(7) 教育環境(設備等)

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
使用教材は適切なものか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

生徒本人が客観的に自身の話し方をチェックできる機会がない。

② 今後の改善方策

タブレットを購入し、動画撮影を通じて、自身の現状を見返す機会を設ける。

③ 特記事項

(8) 生徒の受入れ募集

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
生徒募集の活動は、適正に行われているか	4
入学選考は、適正に行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(9) 財務

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4
仲介手数料は法令・相場水準に照らして適正に支出されているか	4

① 課題

入学希望者は年々増えている中、在留資格認定証明書(COE)交付率の兼ね合いにて、定員数を満たすことはできていない。

② 今後の改善

過去の不交付理由を振り返り、傾向対策を行う。

③ 特記事項

(10) 法令等の遵守

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(11) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
地域と連携した教育内容の充実が図られているか	2

① 課題

地域と連携した学びを提供することはできていない。なお、成果発表会や各国料理披露などの行事については、姉妹校および地域の方をご招待している。

② 今後の改善方策

範囲を広げて文化交流の機会やボランティアなどの情報を提供する。

③ 特記事項